## オピニオン

# 教育旅行に社会とつながるSDGsプログラム

夏休みのほとんどの期間、首都圏や関西圏など都市部の多くには、新型コロナウイルス感染防止対策としての緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などが発せられました。夏休みならではの野外活動、スポーツ、旅行や帰省など多くの活動が自粛の対象となりました。

そんな中で開催された東京オリンピックでは、せっかくの自国開催でありながらほぼ無観客となり、会場での生の観戦がかなわずテレビ観戦となりましたが、史上最高のメダル獲得数となるなど、日本人選手の目を見張る活躍は多くの国民に感動を与えてくれました。

一方、新型コロナ対策では全国各地でワクチン接種が進んでいますが、収束まではまだ遠い道のりになりそうです。東京の感染者は8月5日には5千人を超えました。オリンピックで来日した外国人は数万人で、その中で期間中の累計感染者は151人であり、ワクチン接種と検査での陰性が条件であったことからか、予想より少なく感じました。修学旅行を含め、あらゆる人と関わる活動には、ワクチンと検査陰性が条件となり、互いが安心できる構図が求められることになります。

今回のオリンピック開催に当たり、ジェンダーや人権の問題、期間中13万個に上る弁当廃棄など食品ロスの問題も起こりました。また、世界中で山火事が起こり、豪雨災害が後を絶ちません。地球温暖化が原因だとする説に異論は少なく、$CO_2$削減は急務であります。それらSDGsに絡むいくつもの問題が露呈しました。

中学生が社会人となる2030年にはどのような世界にすればいいのか、学校の教室のみならず、社会の現場で学ぶ機会が求められています。今後は、コロナで失った人との交流が極めて重要な教育の要素となることは間違いありません。教育民泊とSDGsに取り組む地域への期待が高まっています。

今後は、遠くへ行きたいとする観光的な旅行から、何を考え、どこで、何をして、誰に学ぶのかなどの「主体的・対話的で深い学び」の実践による内容と教育効果が問われることになります。SDGsの区切りとされた2030年まで残された時間は少ない。

2022年以降の修学旅行を含めたあらゆる教育の機会には、多様な要望に応えられ、SDGsを体験教育プログラムとして進行をするファシリテーターなどの地域人材の養成もしながら、受け入れ態勢整備をしている、今特集で掲載の地域をお選びいただきたいと思います。

全国ほんもの体験ネットワーク会長／全国教育民泊協会会長／株式会社体験教育企画
代表取締役　藤澤安良

## 岩手県・田野畑村

# 三陸復興国立公園
# 大震災の伝承と織りなす大自然

岩手県沿岸北部に位置する田野畑村は、人口約3200人の農山漁村です。三陸復興国立公園に指定されている海岸線には、高さ200㍍前後の断崖が約8㌔にわたり連なる北山崎や、弓状にえぐられた200㍍前後の断崖が5列に連なる鵜の巣断崖などの景勝地を有しています。北山崎は、平成11年に公益財団法人日本交通公社が行った全国観光資源評価・海岸の部で、世界に誇示できる観光資源であるとして、最高ランクの特A級に格付けされています。

田野畑村の豊かな自然の中に築かれてきた歴史や文化、漁業、農業、酪農、林業、観光と多彩な産業と人々の営み、そして大津波の体験と復興へ進む姿は、たくましさや生きる力を育むための良き教材です。体験プログラムの指導者は望に対し迅速、柔軟に対応しています。プログラムの指導者や民泊家庭は、定期的な研修を行い、漁船プログラムについては海上保安庁などとの連携訓練を実施し安全確保に努めています。

新型コロナウイルス感染症対策として体調確認、手指消毒、マスクの着用をしていただき、各種体験実施人数を制限しながら実施します。

■組織と教育訓練＝体験村・たのはたネットワークがコーディネート組織として手配のワンストップ化を図り、田野畑村役場が後方支援をする官民一体の体制を整え、学校や旅行会社の目的や要望に対し迅速、柔軟に対応しています。プログラムの指導者や民泊家庭は、定期的な研修を行い、漁船プログラムについては海上保安庁などとの連携訓練を実施し安全確保に努めています。

■民泊（ホームステイ）＝80軒の受け入れ家庭があり、200人の受け入れが可能です。隣接の普代村や、アクセスの良くなった三陸沿岸道路で約30分の久慈市などと連携し、大規模校の受け入れも可能です。地域の人々が連携して自然の恵みを共有し助け合ってきた営みを体験し、ふれあいを通じて心が成長します。

■宿泊ホテル＝336人の収容能力を持つホテル羅賀荘は、宿を出るとすぐに体験現場というロケーション。ホテルに隣接の屋内交流センターではセレモニーや体験プログラム、ワークショップなど多目的な活用が可能で滞在中に効率的なプログラムを組めます。

■机浜番屋群＝平成18年に「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選」に選ばれた机浜番屋群。東日本大震災で流失しましたが、多くの方の支援で以前の面影を復元する形で再建されました。現在は漁師の拠点施設であるとともに、塩づくりや番屋料理などの体験ができる観光拠点にもなっています。

【お奨めプログラム】

◆サッパ船アドベンチャーズ＝三陸地域の観光振興をけん引するサッパ船アドベンチャーズ。漁に使う小型漁船（サッパ船）に乗り、断崖直下や岩礁の間を縫うように航行する漁師の勇姿に気迫を感じます。洋上や漁港での体験は漁業の厳しさや漁師の知恵を伝えます。

◆大津波語り部＝平成23年3月11日に村を襲った大津波は、住家や施設のみならず、多くの尊い命を奪い去りました。被災地だからこそ伝えなければならない、あの日この場所で起こったこと。そして10年の歳月の中で懸命に復旧・復興を続けてきたこと。当時を知るガイドから防災への備え、生きる力を学びます。

◆塩づくり体験＝かつて三陸沿岸一帯で行われていた塩づくりを昔ながらの製法で体験できます。大量の海水から生み出される塩の量はほんのわずか。歴史を学ぶことで、いかに塩が貴重であったかを実感できます。


人気のサッパ船アドベンチャーズ


体験の拠点「机浜番屋群」


潮騒の宿「ホテル羅賀荘」

「大津波語り部」から生きる力を学ぶ



NPO法人 体験村・たのはたネットワーク
担当　楠田・赤坂
〒028-8402 岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10
北山崎ビジターセンター内
TEL 0194-37-1211　FAX 0194-33-3355
E-mail:taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp
URL:https://www.tanohata-taiken.jp/

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い民泊の受け入れを停止しています（9月4日時点）。

# SDGsプログラムの活用を

## 新潟県・上越市・十日町市

# 越後の体験と地域から学び、考える探究学習

新潟県上越市・十日町市には田舎らしい風景・暮らしがあります。私たちは自然と自然のつながり、自然と人とのつながり、人と人とのつながりを大切に考え、そのさまざまなつながりを暮らしや体験、人との交流の中で、肌や心で感じてもらえるような受け入れを目指しています。忘れがちな自然への配慮、人への思いやり、生きることの大切さを短い時間の中で伝えていきます。地域では受け入れのための研修会や反省会、あるいは視察や学校訪問などを実施し、地域の連携を図りながら自ら学び・楽しんで地域で事業に取り組み、「具体的な体験からの気づき」を伝えていきたいと考えています。人とひとをつなぐ「越後田舎体験」で心高まる体験・交流をしていただきますよう皆さまのお越しをお待ちしております。

■プログラム例

越後田舎体験エリアである上越市と十日町市において、施設、地域との関わりの中で田舎の暮らしや文化、農業、食などさまざまな体験をし、そこで暮らす方々と交流することで、自分たちの地域や自らの生き方を考えていただくプログラムです。

**農村のくらし**＝農村生活の中では、食品ロスやリデュース、リユース、リサイクルの取り組み、あるいは自然と調和したライフスタイルに関する情報などでの学びがあり、行動に移すための気づきがあります。

**手描き友禅染**＝きものの町十日町市では手描き友禅染体験ができます。時間があれば工場見学も可能です。

**雪里のブナ林**＝日本海側の多雪地のブナは標高200㍍前後、民家のすぐそばにブナ林があります。実際に林を観察することで、生態系サービスによって私たちの生活は支えられていることを学びます。

**稲作（田植え・稲刈りなど）**＝平野部の田から山間部の棚田までは標高差があり、5月上旬から6月上旬まで田植えができます。一般的な体験は田植え、稲刈りですが、そのほかにも、農家の人は常に稲の発育状況を観察しながら、水の管理、除草（草刈り）などの作業を行います。

**信濃川ラフティング**＝比較的緩やかな流れの信濃川を川の流れと米作りの大地を感じながらボートで下るコースです。チームが一つになってゴールを目指します。

**雪の利活用を学ぶ**＝雪室とは、雪国ならではの天然の冷蔵庫です。上越市安塚区では雪を活用した施設がいくつかあります。施設見学、話、体験も含めたプログラムです。

**高田の雁木の町家巡り**＝豪雪地域の雁木の町家の今と昔の暮らしを学びます。

**火焚（た）き体験**＝林の様子を学び、たき木を集め、火をたきます。

【プログラム例】
施設：田舎体験の宿
テーマ：田舎で暮らす（例）
日程：1泊2日または2泊3日
受け入れ可能人数：10人～（宿泊施設などにより異なる）
学習のスケジュール案（1泊2日、2泊3日）
事前学習　事前に地域のことを調べる
講話　受け入れ地域の方が講師となり、自らの仕事・活動・考え方などを語る。農業、ブナ林、高齢化、田舎の観光、Iターンなどのテーマを設定＝所要時間1時間程度
体験　①地域探索②農業体験③ブナ林（自然）散策④ものづくり（作って使う）⑤季節のもので料理⑥川の体験（ラフティング）⑦海の体験（釣り・乗船など）―など＝体験時間は各2～3時間
振り返り　聞いたこと、体験したことをまとめ、発表する＝所要時間は2時間程度
事後学習　探求学習の感想、自分の生活の中で取り組みたいことなど


信濃川でのラフティング


ブナの森を散策


田植え体験の光景

越後田舎体験推進協議会
通常営業時間8：30～17：30（月～金）（祭日・年末年始など休み）
＊時間外でも電話してみてください
〒942-0411 新潟県上越市安塚区安塚722―3
雪だるま財団内
TEL 025-592-3988　FAX 025-592-3324
http://www.echigo-inakataiken.jp/
e-mail taiken@yukidaruma.or.jp

## 埼玉県・秩父地域

# 都心から90分、民泊家庭は150軒
# 東京に「ちかいなか」秩父

埼玉県の秩父地域は、東京都心から約80㌔圏内（バス、電車で2時間以内）でありながら、ユネスコに登録された「秩父祭」に代表される歴史や伝統文化、素晴らしい自然、また、人情にあふれた地域です。

歴史の教科書の中では、「和同開珎」「秩父事件」などが有名で、地学の面では〝日本地質学発祥の地〟として「日本ジオパーク」にも選ばれています。また、最近では感動の人気アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」や映画「心が叫びたがっているんだ。」「空の青さを知る人よ」の舞台にもなったアニメの聖地でもあり、現在全国で一番歌われている卒業ソング「旅立ちの日に」の発祥の地でもあります。

風光明媚で豊かな自然も残っており、四季を通じた観光要素も多くあります。民泊で生徒たちをお預かりしている間、ほかでのアドベンチャーや渓流釣り、田植え体験、日本百観音霊場である「秩父札所34ケ寺」で行われる座禅、竹細工など学校のニーズに合わせた自然、文化を体感できる豊富な体験プログラムも多数ご用意しています。

受け入れコーディネート組織である「一般社団法人　秩父地域おもてなし観光公社」は、行政とも密接に連携しており、秩父医師会と連携した新型コロナウイルス対策や秩父消防本部にも受け入れの際には事前にお知らせをして、万が一の緊急時にも、地域ぐるみで対応する準備もしています。その他、学校や家庭が望むニーズにも可能な限り対応いたします。

バスでは修学旅行で人気の高い国会議事堂から約90分、東京ディズニーランドから約110分。首都高、関越道経由・花園IC下車、国道140号を利用。鉄道では、JR山手線池袋駅から西武鉄道の特急レッドアロー号（全席指定）で西武秩父駅まで約80分。都心から一番近くて、一度に約300人まで受け入れ可能なのが秩父地域の民泊です。東京への修学旅行に〝ちかいなか　秩父〟の民泊を取り入れ、人情あふれる田舎の生活体験をしてみませんか。


自然を感じ、チームワークを育むラフティング


全員で料理して「いただきます」


みんなで田植え体験


受け入れ家庭での農作業体験

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社
〒368-0032 埼玉県秩父市熊木町9-5
秩父ビジネスプラザ
TEL 0494-26-6260　FAX 0494-26-7331
E-mail:info@chichibu-omotenashi.com
URL https://www.chichibu-omotenashi.com/